

**令和4年度
佐渡市 自動運転実証事業 取組概要**

1. 2022年度_佐渡市 自動運転実証事業の取組概要

座談会を通じ 島民の移動に関わる実情を把握 = “地域を知ること” から開始し、
座談会結果を踏まえ、相川・小木でワークショップ、自動運転試乗体験、映像コンテンツ配信を実施

座談会
(ヒアリング)

自動運転
ワークショップ

自動運転
地図データ収集

試乗体験
(東京台場)

映像コンテンツ
配信



島民の移動に関わる実情を把握することを目的に、課題や不安を座談会形式でヒアリング
面談先

- ・まちづくり協議会
- ・DMO、観光事業者
- ・交通事業者
- ・社会福祉協議会
- ・教育委員会
- ・商業施設(スーパー等)
- ・物流事業者(ヤマト) 等

- ・座談会結果を元に、相川と小木を先行対象エリアと設定
- ・地元の皆さんで地域交通の有り姿を考え、提案することを目的に、地元住民・事業者とワークショップを実施(相川・小木で各2回、合同で1回開催したため、計5回開催)

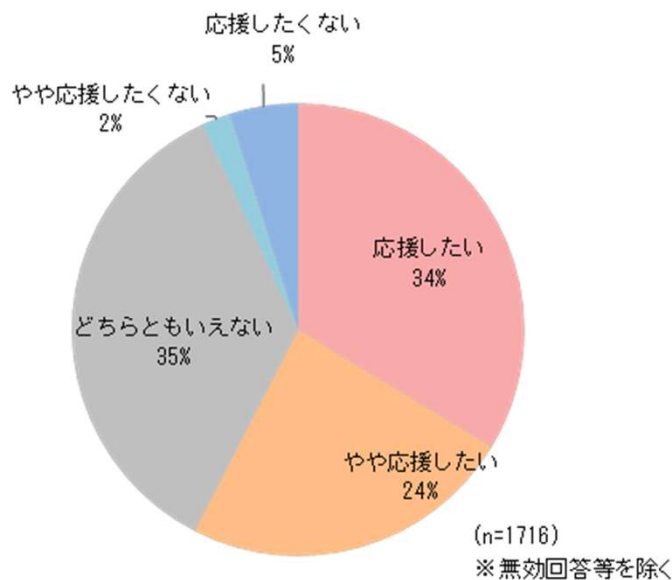
- ・世界遺産登録を見据え、自動運転の先行展開エリアとして相川を設定
- ・相川エリアにて、Mobileye社製の車載器を4機を佐渡市公用車へ搭載し、一部集中的に走行することで30回程度運行し地図データを収集。

- ・ワークショップメンバーを中心に、自動運転の乗車体験を通じ利便性や安全性を体感
 - ・試乗インタビューを島内に発信
- 参加者
- ・佐渡市役所
 - ・交通事業者
 - ・社会福祉協議会
 - ・DMO、観光事業者

- ・市長、交通事業者、DMO、観光事業者、まちづくり団体、住民らの自動運転への期待コメントを撮影し、主に島内向けで発信。
- ・又、ワークショップや試乗会の様子をドキュメンタリー形式で作成し、同様に発信。

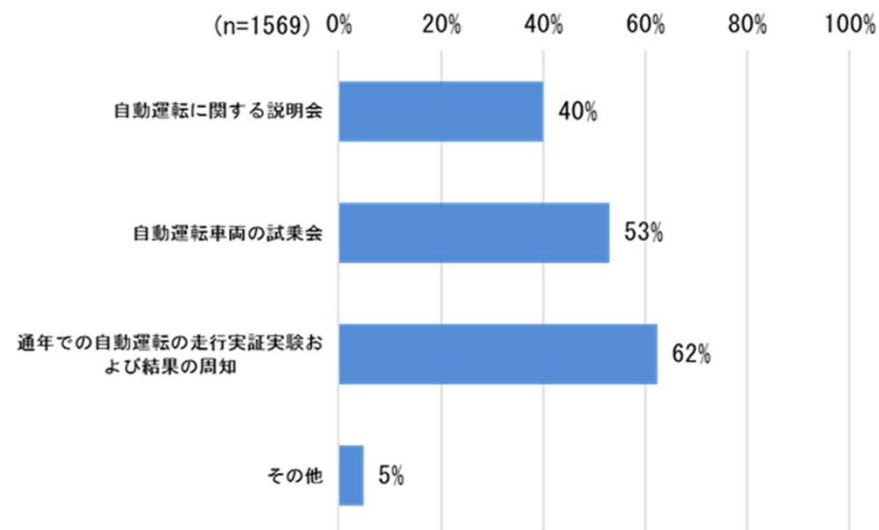
2. 2022年度_国交省自動運転実証事業_島内アンケート結果

佐渡市の自動運転導入を検討することを 応援したいと思うか



- 「応援したい/やや応援したい」の回答が**58%**
- 映像コンテンツを見た回答者の内、**78%**が「応援したい/やや応援したい」と回答
- 映像コンテンツの視聴により、**今後の佐渡市の自動運転に対する検討方針が理解**され、応援したいという回答者が多くなった

自動運転への不安を解消するために 必要な施策は



- **62%**の人が「自動運転の走行実証実験および結果の周知」と回答
- 他の回答も半数又は半数近くの回答となっており、**自動運転に対する詳しい説明や安心・安全だという結果、もしくは身をもって体験できる試乗会が必要**と感じている